



前川 雅志
議員
(政風クラブ)

問 本年5月、泊原発三号機が停止。北電はこの夏の予想不足電力を公表し、北海道に正式に節電を要請、道民の理解を求めた。

幕別町は、京都議定書以降、幕別町環境宣言、エコオフィス幕別プラン、幕別町地域省エネルギービジョン、幕別町地域新エネルギービジョンを定め、CO2排出量削減と省エネに住民・企業並びに行政で努力してきた。

町民生活や産業に影響が出ないよう、行政・町民・企業が取り組むことは何か必要か伺う。

①幕別町の使用電力量の推移と太陽光等による発電実績を伺う。

②エコオフィス幕別プランの効果を伺う。

③幕別町地域省エネルギービジョンの評価を伺う。

④幕別町環境宣言の「地域にやさしい行動チェックシート」の活用方法、環境学習・環境教育の取り組みを伺う。

問 公共施設の節電目標は

答 7%削減に向けて努力する

⑤この夏の電力は足りるのか伺う。

町長 ①町の

使用電力量は、北電では市町村ごとのデータを持つていないとのこと、幕別町地域省エネルギービジョンでは18万3077KWhと推計している。

H23太陽光発電の年間発電実績	
個人住宅 (161戸)	85万7486KWh
公共施設 (3カ所)	6万1154KWh
計	91万8640KWh

②コピー用紙の削減、アイドリングストップやハイブリット車や低燃費車の導入による燃料費の削減、暖房温度の調整により二酸化炭素の排出量はマイナス3・8%を達成している。

③平成23年に実施状況の検証を外部委託し、町民意識の高さが伺われると評価されており、エネルギー消費量は減少し、12・3%の削減が達成されているため、さらなる省エネルギーへとつながるもの

のと見込んでいる。

④「省エネ普及指導員」による出前講座の教材として活用している、一般の町民の方には、町のホームページからダウンロードできるほか、役場の各窓口で持ち帰りできるように配布しており、この夏の節電意識の啓発にも活用していきたい。

学校教育では、小学校3、4年生の社会科、6年生、中学校での理科などで取り入れている。

環境教育では、小学校の学校農園、ペットボトルキャップの回収、中学校では、リサイクル活動やクリーン作戦などを展開している。

⑤この質問に対しては、私がお答えする立場にないことをご理解いただきたいと思います。北電によるとピーク時には北海道全体で7%不足するとされていることから、本町の公共施設でも住民サービスの維持に配慮しながら出来る限りの節電に取り組む、町民の皆

さんにも広報誌やホームページ等により節電対策の啓発に努めていきたい。

再質問 ①公共施設の節電目標は。

②使用電力量の公表を。

③省エネナビのあり方。

④「地球にやさしい行動チェックシート」の節電バージョンの作成を。

答 ①削減数値を見込むのは難しいが、7%削減に向けて努力をしていきたい。

②数値については、今年の節電の取り組みを行った上で、示したい。

③検証結果をもとに、これからのあり方を検討していきたい。

④わかりやすい形のものを新たに検討していきたい。



役場庁舎1階に設置している省エネナビ